

一般質問

そこが聞きたい！

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、18人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。



録画配信

銃撃事件と安全策



つぶやき
早期に適切に、事前・直後・事後の防犯対応を

みらいの会
たくや
そごう 拓也 議員

Q 市内の発砲事件を受け、今後の安全対策は

A 情報提供、注意喚起、地域警戒を行う

議員 令和5年10月、市内病院付近で発砲があり、2人が負傷し、郵便局に犯人が立て籠もる事件があった。本事件への対応は。

市民生活部長 事件発生後、蕨警察署生活安全課から本市のくらし安心課へ連絡が入った。その後、市長や関係部局へ共有し、防災行政無線やSNSで注意喚起を行った。同時に、青色防犯パトロールの警戒強化の指示や地域安全ステーションへの周知を行った。

議員 情報配信、警戒活動の詳細は。また、本市での防犯カメラ活用、立て籠もり時の対応は。

市民生活部長 情報配信は市ホームページとXで各2回、LINEとメールで各3回行った。1回目に「男が発砲し逃走」。2回目に「立て籠もり事件が発生」。3回目に「身柄を確保」と配信。児童・医療・福祉施設では、早期の警戒強化などの対応を行った。防犯カメラの映像については、警察と協力し、分析をしている。今後、防犯カメラの入れ替え時は、情勢や必要性などを総合的に勘案し、AI機能の導入なども研究していく。また、今回のような事件の際は、状況に応じて避難場所を開設する。さらには、移動支援、食料配布、要配慮者などについても適切に対応していく。



適切な防犯対策が求められます

録画配信

物価高対策



つぶやき
物価高に負けず、支援の拡充・賃金の上昇を！

公明党
みうら よし かず
三浦 芳一 議員

Q 低所得世帯に、7万円の年内支給を

A 早期の支給に向け、準備を進める

議員 「重点支援地方交付金」を活用し、年内支給を。
企画財政部長 物価高に最も切実に苦しんでいる低所得者向けの対策であり、追加の補正予算を検討し、早期の追加給付に向け準備を進めている。

議員 戸田市プレミアム付電子商品券「TODA PAY」の毎年実施で多くの市民が活用できるように。

環境経済部長 毎年実施されることで「TODA PAY」がブラッシュアップされ、認知度も高まり市内経済の活性化につながることから、継続して実施したい。

議員 少子化対策としての給食費無償化の継続や高齢者支援についても検討いただきたい。



TODA PAY アプリ

Q 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を

A 実施に向け検討してく

議員 80歳まで3人に一人が発症。患者数の増大により多くの市民要望がある。接種費用の助成を。

市長 実施に向けしっかりと検討していく。

その他の質問

Q エアロゾルフィルター設置について。

A 感染症対策の一つとして調査研究していく。

録画配信

ダブルケア支援



つぶやき
育児も介護も1人で背負わなくてよい社会を

戸田の会
みや うち
宮内 そうこ 議員

Q 育児と介護が重なるダブルケアの支援を

A 包括的な支援の必要性を認識している

議員 ダブルケアは、女性に負担が集中しており、30～40代の働き盛りの世代と一致する。育児と親の介護を同時期に抱える家庭への支援が必要であると考えるが、本市の認識は。

健康福祉部長 経済的、身体的および精神的な不安感など課題はさまざまであり、包括的な支援が求められるものと認識している。

議員 育児と介護の両方の相談に応じる「ダブルケア相談窓口」の設置を。

健康福祉部長 令和2年度に福祉総合相談窓口を設置しており、ダブルケアの相談も受け、関係機関と連携して対応している。

議員 ダブルケアの負担軽減策として、特別養護老人ホームへの優先的入所や保育園の優先的入園などの支援策を。

健康福祉部長 特別養護老人ホームは県の指針に基づき優先入所できるように配慮している。

こども健やか部長 保育園の優先的入園についても介護の指数を優位に設定している。

議員 育児も介護も未来に関わる重要な課題であるため、ダブルケアへの支援体制の構築を要望する。



育児と介護を1人で背負うのは大変です